

## **傾斜地におけるキャベツ定植機の試走を実施**

8 月 10 日京丹後市大宮町の開発農地（学舎卒業生ほ場）において加工用キャベツの検討を行い、農業者や関係者 14 名が参加しました。

加工用キャベツの機械化栽培では、傾斜地における定植機の利用に向けて精度向上と省力化を検討するため、ヤンマーアグリジャパン株式会社の協力を得て定植機の試走を行いました。

参加者からは、「植え付け速度が速く、作業者の負担が少ないことは良いが、往路と復路で傾斜方向が逆になるため、転回のたびに植付位置を調整しなおす必要があり、調整が簡単に行えるような構造が必要」との声があり、今後、メーカーと検討を進めます。

10 月末には収穫機の試走を行い、機械利用に向けての検討を進めていきます。



傾斜地での定植機利用によるキャベツ定植の実演